

謹賀新年

謹んで新年のお慶びを申し上げ
併せてご家族皆様のご多幸をお祈り致します
平成27年 元旦

阿部敏雄(敏翁)

さてここ数年、年の初めに旧年の年次報告的なやや長文の賀状を纏めていますが、今回も引き続いて近況報告を纏めてみました。

取り留めのないものばかりですが、ご笑覧頂ければ幸いです。

尚、このウェブ年賀状はリンクを多用しています。リンク先からリンク元に直接戻れる様にするには、このウェブ年賀状を皆さんのパソコンに保存するのがお勧めです。その保存されたファイルから閲覧する場合は、リンク先で右上の X 印をクリックすれば間違いなくリンク元に戻る事ができます。

I. 東芝材遊会

私も創立に参画した「東芝材遊会」*も創立以来20年が経過し、去る6月18日に創立20周年記念大会を川崎日航ホテルで開催しました。参加者の写真をご覧に入れます。

*：東芝及びその関係会社で材料関係の技術を担当した人達のOB会。



そこで私は記念講演を行っております。

講演は、「忘れえぬ人々」と題して犬塚、妻木、西島、大戸、蠣崎、村松、日吉各氏など今は亡き諸先輩の思い出話を中心です。

その講演に用いたPowerPointと草稿、及び講演を佐藤幹郎さんが撮影した動画をOneDriveに「公開」してあります。(URLは下記)

ご覧になるには、PowerPoint(0051#)をスライドショーでぎっご覧になり、草稿(0052#)に目を通してから動画(0053#)に進むのが良いと思います。(# 番号はファイル名の頭に付けた番号)

OneDrive「公開」のURLは <http://sdrv.ms/1a27P9C>

(「公開」に掲載されているファイル群については、初めにその中のreadmeをご覧になる事をお勧めします。

尚、上記0051を閲覧するにはファイルをクリック後、上部の「開く」をクリックし現れるプルダウンメニューから「PowerPointで開く」を選択する必要があります。)

II. 日本のワイン

ここ数年来、東芝材遊会の有志の皆さんと「ワインを楽しむ会」を開催してきましたが、フランスワインを主体として、ボルドー・メドック4大シャトー(但しセカンド・ワイン)を飲み終わったところで一段落としました。(①)

今年に入っては私個人として、最近評価が高まって来たと言われる日本ワインの検討を始め(②)、またそれに基づいて「甲州ワインツアー」(同行者は東芝材遊会の加藤、中村両兄と古くからの友人である大屋大兄)を実行しております。(③) 尚、以上の状況は私のブログに掲載してあります。

ブログのURLは、http://blog.goo.ne.jp/toshiou_goo/

- ① 「第5回ワインを楽しむ会」2013年12月15日掲載
- ② 「日本のワイン」2014年4月5日掲載
- ③ 「甲州ワインツアー2014」2014年5月24日掲載

(①～③は赤枠をクリックする事により、直接ジャンプ可能です。以下同様)

III. 酒場放浪とカラオケ

東芝材遊会のカラオケ部会が2013年秋から始めている「酒場放浪」も5回続いている、この調子ではまだ続きそうなのでここでも紹介します。

これは、BS-TBSの人気番組である「吉田類の酒場放浪記」及び、その姉妹番組である「おんな酒場放浪記」で放映された酒場の中から、川崎周辺にある店を訪問し一杯飲んでから、我々のホームグラウンドである川崎・貝塚にある「メロデイハウス」でカラオケを歌う事を基本とするものです。

その開催状況も私のブログに掲載してあります。(④)

尚、このブログからは、訪問/又は訪問予定の酒場に関する放送の録画(上記OneDrive「公開」に掲載)に飛ぶことが出来る仕掛けになっています。

- ④ 「カラオケ部会の酒場放浪」2014年8月13日掲載

その後、12月に忘年会を兼ねてJR蒲田駅東口近くにある「さしみや五坪」を訪れました。その時の写真は上記ブログに入れてないのでここでご覧に入れましょう。



また10月15日には東芝材遊会・例会の後、有志が日比谷から川崎に移動してカラオケ大会を開催しておりますが、その様子は佐藤幹郎さんが動画撮影し「熱唱の宴」と題したDVD(佐藤さんらしい細部にまで拘った力作です)に纏められています。

参加者全員の写真をご覧に入れます。



尚、私とママ(前列左から2人目)でデュエットした「浪速恋しぐれ」をそのDVDから抜き出し、上記OneDrive「公開」に掲載して見ました。お見せするのが恥ずかしい様な代物ですが、私の元気さだけはお伝えできるのではないかと考えています。

IV. 珈琲「ゲイシャ」

9月中旬にスターバックスから一杯1980円(税別)で売り出され話題になった珈琲種「ゲイシャ」の話です。私がかねてからこの珈琲に興味を持ち(⑥)、去る5月に上記カラオケ会の3人と共に通の中では知られている珈琲屋「バツハ」(⑤)でこの珈琲を味わいました。(⑦)

独特な柑橘系の香りと上品な酸味を有し他に例を見ない珈琲でした。

その辺のあたりもブログに掲載してあります。

⑤ 「珈琲屋バツハ(1)」2011年11月15日掲載

⑥ 「珈琲種ゲイシャ」2012年1月31日掲載

⑦ 「バツハ de ゲイシャ」2014年5月25日掲載

尚、スタバは、特別な店スターバックスリザーブ(全国で54店舗)でしか「ゲイシャ」のサービスはしていません、川崎にはありません。

10月の東芝材遊会・例会(日比谷で開催)のついでに目黒のリザーブ店で味わおうと思い前日電話をしてみたら、この珈琲は9月中旬発売とともに即日完売したそうで、今はどこにもないとの事でした。

日本人の物好き(私もその一員)の多さには驚かされた次第です。

「ゲイシャ」は大いに気に入りましたが、豆が高価過ぎます。最近は通常の珈琲にフレーバーを添加して似たものが作れないか検討しています。目下のところ、150ccの熱い珈琲液に柚子の皮(～5mm角)とレモン汁(～0.5cc)を加えたもので、「ゲイシャ」と同じとは言えませんが、それなりの独特の強い柑橘系の香りと上品な酸味を得られる事が分かり愛用している次第です。